

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日 時：令和2年9月29日（火）9：00～9：35

3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

大島安全規制管理官（研究炉等審査担当）、来住補佐、森光係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部

奥田部長 他3名

5. 要 旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、資料に基づき、機構の有する施設に係る審査の進め方について説明があった。

規制庁からは次の指摘をした。

- ・説明のあった優先度について特段違和感はない。
- ・原科研処理場の設工認は、補正により一部分割を統合する予定と聞いているが、審査をスムーズに進める観点から統合が適切か確認してほしい。
- ・大洗廃棄物管理施設の設工認は、基準適合性を確認する観点から、分割数が少ない方が審査がスムーズに進むと考えている。
- ・3条改正に伴う保安規定変更認可申請においては、施設間の整合性をよく確認してほしい。
- ・HTTRとJR R-3の設工認分割申請について、機構が行っている申請漏れ防止対策の結果について、いずれかのタイミングで説明してもらう必要があると考えている。

これらに対し、機構からは了解した旨回答があった。

6. 事業者配布資料

資料1 機構全体における許認可の優先度の見直しについて

資料2 JAEA許認可審査上位案件